



## 『県伊祭 サイエンスショー、チャリティバザー実施、売上報告』

6月13日(土)に開催された県伊祭一般公開日において、GLiS 類型の有志生徒が「サイエンスショー」と「チャリティバザー」を実施しました。

サイエンスショーでは、「サーモスライム実験」を行いました。来場者の皆様に実際にスライムづくりを体験していただき、温度の変化によって色が変わる不思議な現象を楽しんでもらいました。当日は57名の方に体験していただき、売り上げは5,700円となりました。

参加者の皆様からは好評をいただき、満足度の高い企画となりました。一方で、体験に時間がかかり、一度に多くの来場者を受け入れることが難しかったことが課題として挙げられました。7月18日に予定されている伊丹市瑞穂小学校のふれあいまつりでも GLiS ブースを出展する予定です。今回の反省を生かし、より多くの方に楽しんでいただける運営を目指して準備を進めていきます。

また、チャリティバザーでは、昨年度に引き続き校内で不用品回収を行い、集まった商品の点検・整理を経て販売しました。売り上げは10,300円となり、多くの品物を必要とする方々に再利用していただくことができました。売り上げは全額、チャイルド・スポンサーシップを通じて支援している〇〇くんへの募金として寄付する予定です。

これらの活動は、有志として参加した多くの GLiS1年生・2年生の協力によって実現しました。特にサイエンスショーで使用したスライムは、試作段階で思うような仕上がりにならないことも多く、生徒たちは何度も改良を重ねました。材料の配合や実験方法を見直しながら試行錯誤を続けた結果、伸びやすく、手にも付きにくいスライムを完成させることができました。

活動を成功させるまでには多くの課題がありましたが、生徒たちは仲間と協力しながら解決策を考え、最後までやり遂げました。この経験を通して得た「考える力」や「協働する力」は、今後の探究活動や学校生活にも生かされることと思います。



## 【いんさいどぐりす 🍌】

### 「サイエンスショー」

・先日開催したサイエンスショーでは、小学生から大人まで多くの方に参加いただきました。「作ったスライムで翌日も遊んでいる」という声もありました。僕は、お客さんの実験中の「スゴイッ!」という驚きの顔を見ることができて嬉しく思いました。

・県伊祭で行われたサイエンスショーで私たちは参加者と共にサーモスライムを作りました。参加者からは手の温度によってスライムの色が変わるのが真新しく楽しかったという声を頂きました。そこで私がサイエンスショーの魅力的だと感じた事は、参加者と一緒に活動をして少しでも科学に触れてもらえることだと考えます。

### 「チャリティーバザー」

・チャリティーバザーの活動は、私にとって当日の販売が一番苦労した一方で、最もやりがいを感じた時でした。私が思っていたよりもお客さんが集まらず、このままではいけないと思い、「チャリティーバザーやっています!」とみんなで呼びかけました。すると、少しずつ人が集まるようになりました。商品が売れたときや、小さな子どもが楽しそうに商品を見ている姿を見たときは、とても嬉しく、心の中で思わずガッツポーズをしていました。私自身、物品販売を行うのは初めての経験でしたが、人の興味を引きつけるためにはどのような工夫が必要なのかを考えることができ、とても良い学びの機会になりました。

・はじめはみんな違うように品出しなど行っていたがみんなで様子をみて行っているうちに協力してバザーを回すことができた。また、自分たちから話しかけることで笑顔になってくれたり感謝されたりする機会が多くなったと実感した。

## 『夏のイベントに向けて』

GLiS では、この夏に2つの大きな地域連携イベントを予定しています。生徒たちは現在、本番に向けて企画や準備を進めており、試行錯誤を重ねながら活動に取り組んでいます。

7月30日(木)には、「夏の夕べ文化財巡り」を実施します。伊丹市文化財ボランティアの会団体の皆様と共同で企画・運営を行い、これまで探究の授業にもお越しいただきながら、生徒たちのアイデアや質問に対して助言をいただけてきました。イベントでは、市内の文化財や歴史的な場所を巡りながら、その魅力を知っていただくことを目的としています。生徒たちは単なる見学会ではなく、参加者が楽しみながら学ぶことができるよう、ストーリー性を取り入れた企画づくりに挑戦しています。文化財に親しみをもち、地域の歴史や文化への関心を深めてもらえるよう準備を進めています。

また、8月22日(土)には、「真夏の研究! ~高校生と一緒に『最高の思い出をつくる日』~」を開催します。こちらウエルこころ様と連携しながら企画・運営を行っており、授業の中で生徒たちは多くの意見交換や質問を重ねながら内容を検討してきました。会場は伊丹商工プラザを予定しており、小学生とその保護者の方を対象としたイベントです。科学の面白さや不思議さを体験してもらうだけでなく、防災に役立つ知識や、災害時における「共助」の大切さについても伝えられる内容を目指しています。参加者にとって楽しく学べる時間となるよう、生徒たちは工夫を重ねながら準備に励んでいます。

授業内では、文化財班とサイエンス班に分かれ、自分たちが考えた企画を担当教員へ発表する「ピッチ」の時間を設けました。実現可能性や安全面、参加者目線など様々な観点から助言を受け、計画の見直しや改善を進めています。すぐに実施へ向けて動き出した班もあれば、さらに検討を重ねている班もありますが、どの班もより良いイベントにしようと真剣に取り組んでいます。

これらの活動は、地域の方々と協働しながら課題を発見し、解決策を考える GLiS ならではの探究活動です。企画の立案から運営までを生徒自身が担うことで、多くの学びや成長が期待されます。夏のイベント本番で、生徒たちがこれまでの努力の成果を発揮してくれることを楽しみにしています。

